「四木」第五集 表題句

ひまはりを供花に高倉健の墓碑

廣崎 龍哉

冬晴や天空に澄む鳶の笛

石崎 玄舟

幼児も小さき柏手初詣

大場 繁好

行く年やあれこれ思ひ夜もふけて

各務きよし

木漏れ日の古刹の庭や竹の春

島村 忠男

秋高しトランペットの鳴る突堤

杉村 良月

墨香る敬老の日の書き損じ

高橋 尤子

耳当てて大樹の鼓動風薫る

二山たか志

見に入むや近頃噛めぬパンの耳

野木未希男

駆け抜ける鱧背な車夫や風光る

桧垣 邦夫

雪柳小さき花散る雨の朝

増田かつを

黄八丈織り継ぐ島や今日の月

宮澤 進

青梅のほんのり赤み差してをり

安田けんじ

石路の花江ノ電ゆるり路地走る

山口 一江

青葉坂手摺に刻む三つ鱗

山本 達也

畝毎に丈の揃はぬ葱坊主

渡部よしまさ